

## 第 10 回研究大会概要

(1993 年度会報より)

第 10 回研究大会の主な内容は、次のとおりであった。

(1) 日時：1993 年 7 月 3 日 (土) 14 : 00～17 : 30

4 日 (日) 10 : 00～13 : 20

(2) 場所：早稲田大学

(3) 研究発表

自由論題報告 (7 月 3 日 14 : 00～15 : 45)

司 会：宇南山英夫 (文京女子大学)

報告者：向 伊知郎 (市祁学園短期大学)

「カナダ会計基準の特質」

湯田 雅夫 (濁協大学)

「ヨーロッパにおける社会関連会計の動向」

Paul Pacter (コネチカット大学 : FASB)

“ International Harmonization of Segment Reporting Standards ”

基調講演 (7 月 3 日 16 : 00～17 : 30)

スピーカー：Dennis R. Beresford (FASB)

“ International Harmonization of Accounting Standards and Cooperation between the United States and Japan ”

公開シンポジウム (7 月 4 日 10:00～13:20)

テーマ：「会計基準の国際化と日米間協力」

司会者：稲垣富士男 (関東学院大学)

講演者：Dennis R. Beresford (FASB)

パネラー：北村 敬子 (中央大学)

広瀬 義州 (早稲田大学)

村山徳五郎 (中央監査法人)

コメンテーター：徳賀 芳弘 (九州大学)

漬本 道正（横浜国立大学）

なお、今回の大会では、日本公認会計士協会と企業財務制度研究会から通訳 2 名などの後援を受けた。

#### 懇親会

懇親会は、7月3日17時45分よりアパコ・ブライダル・ホール（東京都新宿区）において、大塚宗春大会準備委員の司会で開催された。まず、小川大会準備委員長から歓迎の挨拶があり、続いて、新井会長、基調講演のスピーカーBeresford 氏、染谷理事（初代会長）の挨拶の後、中島理事（第2代会長）の乾杯の音頭で開宴した。その後、次回の大会準備委員長の平松理事の挨拶を交えて19時45分に盛会裡に閉会した。